

## 08 グリッドシステム

### ページに整然としたまとまりを持たせるレイアウト手法

誌面をグリッド（格子）に区切り、それに合わせて文章や図版などをはめ込むレイアウト。

①

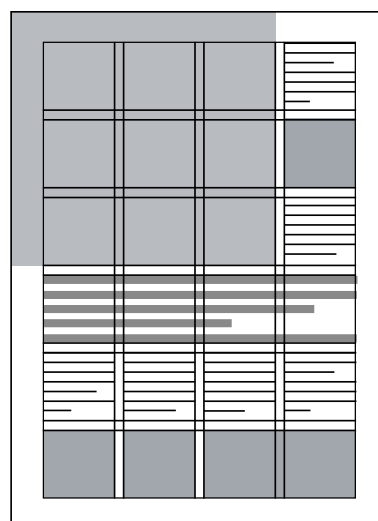
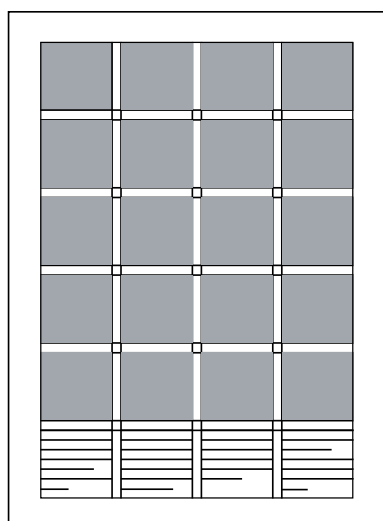
②

③

④

⑤

【同一グリッドを用いて変化をもたせたレイアウトの例】



## 09 図版のレイアウト

### 文字と図版の関係

#### 1 図版率

文字に対する写真やイラスト、グラフなどの図版が占める割合。誌面の印象と読みやすさを左右する。

読み物であっても      %前後の図版や余白を入れると、とっつきやすく、読みやすさが増す。

図版率が低い（文字量多）＝

図版率が高い（文字量少）＝

図版率 0 %…

図版率 2 0 ～ 2 5 %…

図版率 5 0 %…

図版率 7 0 % ～ 8 0 %…

#### 2 写真のトリミング

写真を切り抜き、画像の不要な部分を削除する。強調したい部分を効果的に見せる。イメージを左右する。

誌面に配置する写真の切り抜き方法（トリミング）を指定する用語。

角版：

丸版：

切り抜き版：

裁ち落とし：

### 3 写真レイアウトの基本原則

---

#### ▶対談写真

人物の視線が内向きになるよう配置する。

写真の上下関係に配慮する。複数枚を併置する場合は問題ないが、上下に配置する場合には役職や年齢などが上の人ほど上に配置する。

人物の顔よりも高い位置に物の写真を配置しない。

#### ▶現実世界の位置関係を維持する

写真の上下関係は、人物の地位や年齢だけではない。現実世界の位置関係（空は陸より上など）を守ると違和感がない。

#### ▶写真の動きや方向性

##### ①人物の視線や人物と空間の関係

人物の視線の方向へ見る人の目線を誘導する。

視線の先に大きな空間＝安心感を与え、安定した構図。これからの先（未来）を見据える、想像する印象を与える。

頭の後に大きな空間＝緊張感と変化を表す構図。過去を思い出す、何かを思い返す印象を与える。

##### ②写真の線を揃える

①写真の外枠の水平・垂直。

②写真の中にある線（地平線や水平線）は、2枚の写真を併置する場合には、線の高さを揃えると広がり表現できる。

③ビルの壁面の垂直線や傾けて撮影すると生まれる道路や建物など斜めの線など。

#### ▶組写真

複数枚の写真をグループとして見せる。反復効果で多くの情報が凝縮している印象になる。写真の配置でさまざまなイメージ作りが可能。

①

②

③